

- 1 会議名 全員協議会
- 2 日時 令和8年7月17日（金）
午前11時35分から午後0時7分まで
- 3 場所 第2・第3委員会室
- 4 出席議員 15名
- 5 出席者 副市長 柴田義晴、総務部長 中村定秋、総務部専門監 西山慎太郎、市民協働部長 伊藤新治、福祉部長 佐野剛、健康こども未来部長 西井上剛、建設部長 西村忠寿、消防長 加藤正人、教育部長 石川文子
秘書人事課長 小崎尚美、同統括主査 林高行、企画財政課長 井手上豊彦、同主幹 宇佐見信仁、行政課長 兼松英知、同統括主査 宇佐美祐二、環境政策課長 秋田伸裕、同統括主査 石井陽平
- 6 事務局出席者 議会事務局長 丹羽至、同主任 村瀬雄哉
- 7 議長あいさつ
- 8 副市長あいさつ
- 9 報告事項

（1）執行機関からの報告

①岩倉市公式Instagramの開設等について

秘書人事課長：資料に基づき説明

【質疑】

梅村議員：Instagramについて、いわくら日和に投稿する際、決まったハッシュタグを付けるやり方と思うが、フォローなしで投稿する場合、フォローして投稿する場合でどのような影響があるのか。

秘書人事課統括主査：フォローの有無についての違いは、ハッシュタグを付けていただければ、こちらからフォローしていなくても検索できる。ご自身の投稿されたものがいわくら日和で挙がったのを確認していくためにも、フォローしていただいたほうが、その後に情報が届くのでフォローしていただきたいと思う。

②ネーミングライツパートナーの募集について

企画財政課長：資料に基づき説明

【質疑】

大野議員：石仏公園の担当課が維持管理課になっているが、ソフトボール場とサッカー場がメインである。それぞれにネーミングライツを作るならばよいと思う。石仏公園は維持管理課でなく生涯学習課の管理がメインで、公園の部分と駐車場はどちらかわからないが、ほとんど生涯学習課が管理する方がメインで、ネーミングライツをするならば、サッカー場でのネーミングライツ、ソフトボール場でのネーミングライツを合算して50万以上を得る方法の方がよほど効果的だと思うが、検討されなかったのか。

企画財政課長：言われたようにサッカーグラウンドとか球場でもそれぞれネーミングライツを募集したらどうかという議論もあったが、施設

があまり広くないということがある。混乱するということもあるので、公園全体として、ネーミングライツを募集しようということになっている。

大野議員：やっぱりメインが生涯学習課であり、生涯学習課で募集した方がよいのではないのか。都市公園だと言ってもメインがサッカー場とソフトボール場であるので、ネーミングライツとして取り扱った方がいいんじゃないかと考えるが、考えを聞かせてほしい。

企画財政課長：あくまでもサッカーグラウンドと球場というのは、石仏公園内のサッカーグラウンドと球場という扱いにしているので、大本としては石仏公園というふうに考えている。管理を今後行っていく維持管理課で募集を行っていくということにさせていただきたい。

大野議員：管理はやはり生涯学習課になるのではないか。それを維持管理課で全部面倒見ろと言われても、それは遊具のところと駐車場がどちらか分からないが、真ん中の着替えやトイレのところは、ほとんどスポーツ施設の方が使われて、どちらかと言われるとやはりスポーツ施設の方が使われる。着替えもするし、そういったところではやはり生涯学習課の方が正しくないか。一方で石仏公園が都市公園と言われればそれまでだが、やはりメインは生涯学習課だと思う。

企画財政課長：サッカーグラウンドとか球場については、もちろん生涯学習課で管理という形にはなるが、あくまでも先ほど答弁させていただいたが、公園全体として捉えているということで、維持管理課で募集するというようにしている。

梶谷議員：役務型のネーミングライツについて、これまで公園や児童遊園などは、アダプトプログラムとして清掃してもらっていた経過もあると思うが、芝刈りから植栽、消毒まで、ボランティアで無償だったと思う。場所が重なる所でのアダプトプログラムの表示とか、団体との関係性はどうなるのか。

企画財政課長：あくまでもこれまでアダプトでやっていただいた団体とか表示についてはこれまでどおりの形にしている。どちらかと言うと委託費を組んで業務を行っている役務に対して、新たにネーミングライツパートナーを募集していこうということなので、アダプトに関してはこれまでどおりやっていただくということにしている。

梶谷議員：これまでどおりということは、アダプトでやっていただいた団体が、やはりネーミングライツとしてもというふうに同じ団体の方が望ましいというような働きかけもされていくのか。

企画財政課長：先ほどの答弁と重複するかもしれないが、あくまでもアダプトに関してはこれまでどおりやっていただいて、今回は今まで委託費として組んでいた公園の清掃とか、剪定みたいなものを、新たに役務提供型のネーミングライツパートナーを募集するということであるので、アダプトの方にネーミングライツパートナーを付与するといったものではないと思っている。

水野議員：金銭型の場合は、民間事業者がネーミングライツ料を払えば義務というか履行は済んでしまうが、役務提供型の場合は、契約期間

中継続して役務を提供しないといけないと思う。例えば災害等で役務提供が不可能になった場合、あるいはその民間事業者側の原因によって役務提供をできないので辞退するとか、そういうふうになった場合の取扱いというのはどのように考えているのか。

企画財政課長：委託業務の清掃とか内容的には同じかなと思う。そういうような事態が生じたら協議して今後の対応を決めていくということになろうかなと思う。

水野議員：市民プラザや図書館、他の公共施設等もいろいろあるかと思うが、将来的なことも含めてこれ以外のものについて、どのような考えか伺いたい。

企画財政課長：今回は、金銭型のネーミングライツを生涯学習センターと石仏公園の方で行わせていただくが、8年度はネーミングライツのガイドラインも改正して、これまで施設提示型で行っていたものに加えて自由提案型といったものもガイドラインの方に加えている。今回はまず施設提示型で行わせていただくが、この施設提示型の募集が終わった後に、自由提案型の募集を行うので、その中で例えば図書館とか別の施設で付けたいといった申出があれば、可能だということになる。

大野議員：役務提供型のネーミングライツについて、地元に馴染んだ公園のところに、どのような表示をするのか。全ての公園に多分手を挙げていただけたらと思えない。中央公園は広すぎるのでちょっと管理が難しいと思う。どのような表示をして、手を挙げていただいた企業がいたらどのように表示するのか教えてほしい。

企画財政課長：例えば都市公園であれば、〇〇工業何とか公園みたいな感じであり、企業名を付けながら公園名を付けていただくといったようなイメージをしている。

梅村議員：事業者側のメリットとして、その会社名が付けられるというところは一つあると思うが、それ以上に例えばトイレ清掃だと、トイレ会社が受けられたら最新型のトイレを置くとか、植木屋が受けたら植木の形を自由にカットできるとか、そういうようなメリットというのは、その名前以外のメリットは何かあるのか。

企画財政課長：基本的には、今こうやっていただいている委託業務の内容を引き続きやっていただくという形になるので、新たにトイレの便器を置いていただくとかのようなことは、今のところ想定はしていない。

③「ごみ減量化ゲーム」について

環境政策課長：資料に基づき説明

【質疑】

塚崎議員：無償提供いただけるということで、このアプリをダウンロードしてゲームをすると思うが、アプリ内の課金とか広告が表示されることがあるのか教えていただきたい。

環境政策課長：説明が足らなかったが、実はこれはアプリではなく、ホームページ内のURLからこのゲームに飛ぶことができるゲームである。実際に宣伝や課金はないので、落ちてきたものをゴミ箱に分別していただくだけのゲームになる。

塚崎議員：アプリではなくてWebということであるが、ランキングが計られるということは何らかログインIDやパスワードなどを用いて、私がゲームしているということを認識されるということか。

環境政策課長：ログインに自分のパスワードやログインIDとか必要なわけではなく、ゲームが終わった後に好きな名前を登録していただける画面が出てくる。そこで例えば環境太郎というふうに名前を入れると、その名前でランキングに載るという形になるので、特にその個人とかIDとかが必要というわけではない。

塚崎議員：毎日積み重ねて得点を稼いでいくようなゲームではなく、そのときに集めた点数をランキングでやっていくという認識でよいのか。

環境政策課長：そのとおりで、1回ごとに自分の名前を登録していただく必要があり、それがランキングに積み重なっていくということである。毎日やっていただいて積み上がっていくというわけではない。

水野議員：資料の方のゲーム画面のタイトル画面を拝見すると、このゲームからさんあ〜るの方に飛べるのかなというふうに思うが、逆にさんあ〜るからこのゲームの方に飛べるようになってるのか。飛べるようにした方がいいのではないかと思うが伺いたい。

環境政策課長：このゲームを設計する時に、さんあ〜るにも確認したが、その方法は難しいということである。今回はこちらからは飛べるが、さんあ〜るから逆にこちらにというのはできない。

片岡副議長：先ほどのランキングの件であるが、終わった際にニックネームみたいなものを登録するだけとのことだが、執行機関側から環境太郎さんにどうやって連絡を取るのかと思う。

環境政策課長：今考えてるのは、誰が対象ですよというのを、そのニックネームをホームページなどで呼びかけたいと思う。スコアとニックネームを登録するところで、スクリーンショットが撮れるので、それを証明として窓口へ持ってきていただければ、記念品をお渡しする。

堀江議員：別口で少し聞きたい部分があるが、このゲームをやるのはすごい楽しみで分別もできるかと思うが、どういった流れでゲームを作って、今回提供という流れになったのかをもう少し詳しく教えていただきたい。

環境政策課長：一般質問で導入したらどうかというのはいただいている。いろいろ調べていくうちに無償でできるということであったので、これは役に立つということで、市民への周知に取り入れたということである。

堀江議員：無償で提供していただくことはすごくありがたいことであるが、その事業者にとってのメリットはどのようなのかという部分が少し気になったので教えていただきたい。

環境政策課長：今回無償提供の条件は、岩倉市のホームページに福島情報処理センターから無償提供いただいている明記をしてもらえれば、無償提供するという条件だったので、取り入れさせていただいた。

④その他

- ・中日ドラゴンズ・ファーム拠点移転プロジェクトへの応募について

企画財政課長：各種報道等で大きく取り上げているのでご承知のことと思うが、プロ野球中日ドラゴンズが二軍の本拠地となる新たな拠点の移転先を自治体から公募している。本市においてもこのプロジェクトが、将来に向けた地域活性化や持続可能なまちづくりに大きく寄与する絶好な機会であると捉え庁内において検討を進めてきた。その結果、本日7月17日が一次提案の提出期限となっており、本市においてもこの全員協議会終了後、正式に応募することを報告する。しかしながら、提案候補地、事業スキームなどの詳細な内容については、現在中日側から情報管理体制を求められているので、現段階においてこの場で具体的な説明は控えさせていただきたくないが、プロジェクトの性質上ご理解をいただきたいと思う。今後、選定状況をお示しできる段階になれば、適正な時期に改めて報告させていただく。

【質疑】

片岡副議長：近隣市町の様子を見ると既に予算を付けて、企画立案のプレゼンに予算を立てているところもあるようだ。岩倉市として手を挙げるが、今後こういった形で予算を付けるとか、現状言える範囲で考えを示してほしい。

企画財政課長：第一次提案は、提案内容等を確認したところ、自庁で職員対応可能であったので職員が作成した。第二次提案の詳細は分かっていないので必要に応じての形になる。

木村議員：この事業の業務について、どこの課が担当するのか。

企画財政課長：現時点では、企画財政課で担っている。今後、例えば第二次募集の際には開発もからむこともあり、スポーツ施設となれば庁内横断的な組織を組織することも検討していきたいと思っている。

- ・庁舎空調設備改修工事に係る東側駐車場の閉鎖について

行政課長：令和8年8月中旬頃から令和9年5月末頃までの間、庁舎東側駐車場を空調設備改修工事に係る現場事務所、資材置き場、廃材置き場として利用するので閉鎖をする。周知について駐車場前で予告看板の設置、ホームページ等を考えている。ご不便をおかけするがご協力をお願いする。

【質疑】

なし

(2) その他

なし

10 協議事項

なし

1 1 その他
なし